

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	柳河精機株式会社	事業所名	狭山工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	委託先を選定する際に、ISO14001等の取得を考慮している			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	輸送実績からトンキロ法の算出			○	○	○
()							
04	積載率の向上	輸送用荷姿を専用から標準容器へ新規立上り～随時変更			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						
04	積載率の向上	反復使用可能な梱包資材の導入及び軽量化			○	○	○
(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施						
04	積載率の向上	契約時に荷量(重量)を提示して車輛の適用を確認している			○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注						
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施	輸送契約時に混載便の利用を前提に契約			○	○	○
(01)	混載便利用の取組						

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	他の関連取引先(荷主)と調整をして、共同輸送化を促進している	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	新規契約時の契約書へ低燃費車利用のお願いを行う	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	取引先懇談会にて推進を要請	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	物流業者への「アイドリングストップ」教育の実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	配送時間の定刻化を実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	多機種少量の納入部品について 混載容器や同梱便の促進	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	出発前の道路状況確認を行い、必要に応じて迂回ルートを設定	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	積卸しの順番待ち等が無い様な時間帯の選定で待機時間を削減	○	○	○
08 物流の効率化 ----- (01) サードパーティロジスティクスの活用	他の物流会社(貨物輸送業者)との調整で、効率的な活用を促している	○	○	○
08 物流の効率化 ----- (02) 物流拠点の活用	長距離輸送での納入先に対しては、デポ倉庫を活用	○	○	○
08 物流の効率化 ----- (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	多機種少量の納入部品について 出荷時間や便数の見直し	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ()	物流業者に対し CO2削減の勉強会を実施	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ----- ()	荷捌き場、駐停車場の整備	○	○	○
11 その他の必要な取組 ----- (01)	生活環境保全条例に基づき、アイドリングストップ看板を工場敷地内入口に3か所設置済み	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	柳河精機株式会社	事業所名	狭山工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
03	自転車への転換の推進	自転車通勤者の通勤時に安全運転ビラ配りの実施			○	○	○
(01)	自転車の安全利用の促進						
03	自転車への転換の推進	駐輪場の整備及び管理(自転車100台、二輪車70台分)			○	○	○
(02)	利用しやすい駐輪場の設置・維持管理						
04	時差通勤の実施	一部職場にてフレックスタイムを導入			○	○	○
()							
07	エコドライブの推進	エコドライブ運転の啓蒙活動			○	○	○
(01)	エコドライブの啓発						
07	エコドライブの推進	エコドライブ運転教育の実施			○	○	○
(02)	エコドライブ研修の実施						